

## 適正利用・エコツーリズムワーキンググループの経過報告・今後の予定

### 1. 2023 年度適正利用・エコツーリズム WG・検討会議の開催概要

- ・ 第 1 回 WG 会議 2023 年 7 月 19 日（水）斜里町産業会館
- ・ 第 2 回 WG 会議 2024 年 2 月 7 日（水）標津町あすばる
- ・ 第 1 回検討会議 2023 年 11 月 10 日（金）小清水町 愛ホール
- ・ 第 2 回検討会議 2024 年 2 月 7 日（水）標津町あすばる

### 2. 主な議事内容

遺産管理計画の見直しや知床エコツーリズム戦略の見直し方針を中心に議論した。主な意見・指摘事項は以下のとおり。

#### ① 設置要綱について

- ・ 必要に応じて委員以外の専門家に出席を求めることができるという規定を円滑に運用するため、また所属ではなく何が専門分野かを明示するため、今後 WG 委員の専門分野を設置要綱に明示する。

#### ② 遺産管理計画の見直し

以下の点以外に大きな見直しは WG としてない。

- ・ 「知床が有するその他の価値」の項目（参考資料 2 p 5）について、知床は手つかずの原生環境ではなく、先史時代から人間とのかかわりの中で成立してきた自然環境であることを追記すること。
- ・ 巻末 1 「遺産地域の概要」の「イ. 利用状況」の項目（参考資料 2 p 37）について、コロナ禍以降の最新の状況も追記すること。
- ・ 巻末 2 「用語集」（参考資料 2 p 39）のうち、「エコツーリズム」の解説内容を更新すること。

#### ③ 遺産管理計画の見直しを受けた知床エコツーリズム戦略への反映

- ・ エコツーリズム戦略は、将来こうしていきたいという「あるべき姿」を示すとともに、具体的な実現方法やそのために実現すべき内容が書かれた実行計画としても策定する。
- ・ 良質な自然体験の「提供」という方針から、来訪者との共創による価値の「創出」に転換するために表現を改める。
- ・ 守るべき価値、伝えていくべき価値は、時代とともに変化する。また来訪者のタイプや目的も変化することを念頭において改定する。
- ・ ゾーニングについては、現在のゾーニングを整理して示す。それ以外に、利用者とも共有可能な利用のゾーニングも検討が必要である。

#### ④ 第 2 期長期モニタリング計画について

- ・ 評価の枠組みについて、エゾシカ WG から再検討の指摘を受けた「2環境圧力・観光圧力」に紐づく評価項目 D、E、F の区分については、気候変動及び利用の影響はともに外力に対

する評価事項をまとめたものであることから、エコツーリズム WG としては、「2環境圧力・観光圧力」を区分する必要がないと決定した。

- ・モニタリング No.22「登山者による高山植生への影響調査」に関する定点写真撮影のポイントの見直しにあたり、削減予定の各定点についても巡視に過度な負担がかからない範囲で継続していく方向で事務局にて再検討を行うこと。

#### ④ 利用状況調査に係る元データの公開について

- ・利用に関するデータのオープンデータ化を積極的に進める。ただしデータの公開に当たっては、データ収集者の許諾を得る。またデータの利用上の注意も加えて公開する。

### 3. 2024 年度適正利用・エコツーリズム WG に関する今後の予定

2024 年度は 2 回程度の開催を予定。

- ・第 1 回 WG 会議：2024 年 7～8 月頃（斜里町または羅臼町を予定）
- ・第 2 回 WG 会議：2024 年 1 月頃（斜里町または羅臼町を予定）
- ・第 1 回検討会議：2024 年 7～8 月頃（斜里町または羅臼町を予定）
- ・第 2 回検討会議：2024 年 1 月頃（斜里町または羅臼町を予定）

以上